

令和5年度
事業活動報告書

社会福祉法人
陽 光 会

令和 5 年度事業活動報告

I. 理事会

日時・場所	出席者	協議内容等
(第 1 回理事会) 令和 5 年 5 月 5 日 (金) 午後 2 時～2 時 55 分 特別養護老人ホーム陽光苑	理事 佐伯 隆史 長崎 達郎 菊地蔵乃介 正能 達也 濱本 修 伊藤 崇 監事 藤尾 智之 坂本 昌隆	〔議決事項〕 第 1 号議案 随意契約承認の件について 陽光苑の既存空調（ビル用マルチエアコン）の入れ替え 工事
(第 2 回理事会) 令和 5 年 6 月 20 日 (火) 午後 2 時～2 時 55 分 特別養護老人ホーム陽光苑	理事 佐伯 隆史 長崎 達郎 菊地蔵之介 正能 達也 濱本 修 伊藤 崇 監事 坂本 昌隆	〔議決事項〕 第一号議案 令和 4 年度決算及び事業報告の承認につ いて 第二号議案 令和 5 年度予算案補正について 第三号議案 理事、監事の推薦について 第四号議案 評議員の推薦について 第五号議案 評議員選任・解任委員会の開催について 第六号議案 長期運転資金の借入れについて 第七号議案 評議員会の開催について
(第 3 回理事会) 令和 5 年 6 月 30 日 (金) 午後 4 時～5 時 神奈川病院大会議室	理事 佐伯 隆史 長崎 達郎 菊地蔵之介 正能 達也 濱本 修 伊藤 崇 監事 藤尾 智之 坂本 昌隆	〔議決事項〕 第 1 号議案 理事長の互選について 第 2 号議案 業務執行理事の互選について 第 3 号議案 横浜市令和 6-7 年度事業特別養護老人ホ ーム整備事業者公募への申請について 第 4 号議案 長期運転資金の借入れについて (前回理事会の 6 号議案変更) 第 5 号議案 業務委託施設管理業務の値上げについて 報告事項 令和 4 年度運営状況について (佐伯理事 長)

<p>(第4回理事会) 令和5年8月29日(火) 午後2時～2時55分 特別養護老人ホーム陽光苑</p>	<p>理事 佐伯 隆史 長崎 達郎 菊地蔵之介 正能 達也 濱本 修 伊藤 崇 監事 藤尾 智之 坂本 昌隆</p>	<p>〔議決事項〕 第1号議案 給食業者の契約変更の承認について 第2号議案 勤怠システムの導入について 第3号議案 育児休業規定の変更について</p>
<p>(第5回理事会) 令和5年10月11日(水) 午後2時～2時55分 特別養護老人ホーム陽光苑</p>	<p>理事 佐伯 隆史 長崎 達郎 菊地蔵之介 正能 達也 濱本 修 伊藤 崇 監事 藤尾 智之 坂本 昌隆</p>	<p>〔議決事項〕 第一号議案 給湯設備更新改修工事一般競争入札の承認について</p>
<p>(第6回理事会) 令和5年11月20日(月) 午後2時～2時55分 特別養護老人ホーム陽光苑</p>	<p>理事 佐伯 隆史 長崎 達郎 菊地蔵之介 正能 達也 濱本 修 伊藤 崇 監事 藤尾 智之 坂本 昌隆</p>	<p>〔議決事項〕 第一号議案 給湯設備更新改修工事一般競争入札結果の承認について 第二号議案 第一号議案の改修工事の工事請負契約書の承認について</p>
<p>(第7回理事会) 令和6年3月26日(火) 午後2時～2時55分 特別養護老人ホーム陽光苑</p>	<p>理事 佐伯 隆史 長崎 達郎 菊地蔵之介 正能 達也 濱本 修 伊藤 崇 監事 藤尾 智之 坂本 昌隆</p>	<p>〔議決事項〕 第一号議案 令和5年度補正予算について 第二号議案 令和6年度予算について 第三号議案 令和6年度事業計画について 第四号議案 評議員選任・委員会 委員の解任と推薦 第五号議案 経理規定の変更</p>

II. 監事会

日時・場所	出席者	協議内容等
(第1回監事会) 令和5年6月1日(木) 午後2時~4時 特別養護老人ホーム陽光苑	監事 藤尾 智之 坂本 昌隆	・令和4年度事業活動報告について ・令和4年度収入支出決算報告について

III. 評議員会

日時・場所	出席者	協議内容等
(第1回評議員会) 令和5年6月29日(木) 午後2時~3時 特別養護老人ホーム陽光苑	評議員 田中 梨奈 和田 崇 白石 健 高田 益江 砂田 育夫 山本 健太郎 錦織 琢磨	[議決事項] 第一号議案 令和4年度決算及び事業報告の承認について 第二号議案 理事、監事の選任について 第三号議案 補正予算案の承認について

IV. 横浜市指導監査

日時・場所	出席者	協議内容等
(社会福祉法人指導監査) 令和6年3月4日(月) 9時30分~17時30分 特別養護老人ホーム陽光苑	理事 濱本 修 伊藤 崇	・文書指摘事項なし ・口頭指摘事項 運営6件 会計11件

V. 管理部門

1. 職員体制

介護職員は、介護保険法で定められている「日中はユニットごとに常時1以上の職員を途切れることなく配置すること」に則した人員配置を確保している。

令和6年3月31日 現在

職 種		職 種	
施 設 長	1	管理栄養士	1
副施設長	1	看 護 職	3 (2)
生活相談員	1	機能訓練士	1
介護支援専門員	2	介 護	47 (8)
事 務 職	2	その他	13

※ () 内は非常勤、派遣職員の内訳

2. 職員研修

(1) 内部研修

研修委員会が中心となり、職員からのニーズを取り入れ、年間内部研修計画を企画推進しました。研修講師は各部門や委員会が担当しました。

研修資料として、オンラインを使用し、ユーチューブの活用を行いました

研修に参加出来なかった職員は、レポート提出をしています

中途採用職員（特定技能者介護職員）の研修については、「やさしい日本語」を活用し個別にて研修を行いました

年間計画による研修

5月 救急対応について（19名参加）

6月 感染症対策（第1回）（食中毒について）（15名参加）

7月 事故対策（第1回）（事例検討）（19名参加）

9月 身体拘束適正化（第1回）（11名参加）

10月 感染症対策（第2回）（クラスター感染振り返り）（30名参加）

11月 看取りについて（16名参加）

12月 事故対策（第2回）（移乗介助）（16名参加）

1月 権利擁護・接遇・ケアプラン（16名参加）

2月 褥瘡対策（メディカルケアサポート外部講師）（14名参加）

3月 身体拘束適正化（第2回）（18名参加）

その他実施した研修

6月 感染予防研修（手洗いチェック）（75名参加）

(2) 外部研修

感染症対策を行いながら、オンライン研修や、外部対面研修を行うことができました

6～7月 ・ユニットリーダー研修

2名参加

7～1月	・日本語研修ビギナーズ・アドバンスコース	3名参加
7～11月	・社会福祉協議会、リスクマネジメント集中セミナー	自由参加
8月29日	・高齢福祉会・看取りについて	2名参加
10月2日	・神奈川県福祉局・育成セミナー	2名参加
11月30日	・介護分野における未病改善指導者育成研修	1名参加
3月1日	・救命講習	1名参加
3月6日	・普通救命講習	2名参加

3. 各委員会活動

委員会は常勤職員全員がいずれかに所属して運営に携わっています。

委員のサポートを受けながら若手職員が委員長を務めるなど、運営を行うことができました。

(1) 行事委員会

季節行事の立案と実施。感染症蔓延予防のため、各ユニット単位で実施しました。

4月26日（11名）、5月24日（9名）、6月28日（8名）、7月26日（7名）

8月30日（8名）、10月25日（8名）、12月27日（6名）

1月31日（5名）、2月28日（5名）3月29日（8名）

(2) 食事委員会

食事に関わる全ての向上に向けた立案の実施

4月10日（9名）、6月5日（7名）、8月7日（9名）、9月4日（6名）、10月9日（10名）

11月13日（10名）、12月11日（10名）、1月15日（12名）、2月5日（11名）

(3) 広報委員会

入居者、家族、事業所、地域に向けた広報活動。毎月【陽光苑だより】を発行し、特養入所のご家族様、ショートステイ利用者ご家族様、居宅へ送付をしました

(4) 防災・設備・美化委員会

防災、生活空間の向上、省エネ対策に向けた立案と実施。

12月12日 共用部の空調入れ替え工事を行いました。

3月31日 給湯設備の入れ替え工事を行いました。

非常災害時のための業務継続計画を整備しました。随時有事の備えの強化に取り組みます。

(5) 事故防止対策委員会

事故予防と再発防止に向けた立案と実施を行っています。

令和5年4月～令和6年3月 事故・ヒヤリハット件数

日付	ヒヤリハット				事故			
	転倒・転落	外傷	薬剤	その他	転倒・転落	外傷	薬剤	その他
令和5年4月	11	11	2	9	18	7	3	3
5月	19	13	3	23	12	5	3	10
6月	11	17	4	35	9	3	2	7
7月	17	16	1	18	10	0	1	4
8月	7	10	1	17	11	2	3	2
9月	4	8	4	17	10	2	6	3
10月	4	11	0	8	9	2	2	3
11月	4	4	1	13	9	7	1	4
12月	3	4	2	22	8	9	2	5
令和6年1月	6	12	2	10	9	6	2	8
2月	5	6	2	14	12	2	1	5
3月	2	9	1	16	6	1	0	3
計	93	121	23	202	123	46	26	55

※その他内訳：誤嚥、誤飲、離設等

ヒヤリハット件数は全体で昨年 253 件、今年度 403 件で+62.7%増え、事故は昨年度全体で 228 件に対し今年度 250 件で+0.9%増加しました。身体拘束の未実施継続と、ご入居者様の身体面、認知面の傾向により事故に至る潜在的リスクは増加の傾向です。小さな気づきを対策に繋げて未然に防いでいけるように取り組んでいきます。また、事故件数は昨年度より転倒や外傷関連が減少しましたが、職員介助中の骨折事故や薬の重大事故が増加しました。施設内の共有と発生時の話し合いと対策の検証を行うことと、施設内の共有を図り、同類事故の防止に努めていきます。

(6) 権利擁護・接遇委員会 リーダー会議と併せて実施しました。

苦情、要望に関しての立案と実施。身体拘束廃止、個人情報保護、虐待防止など入居者の権利擁護に向けた立案と実施。職員の接遇向上に向けた立案と実施しています。

(7) 褥瘡対策委員会

褥瘡の予防と治癒に向けた対応についての検討会を行いました。

4月4日（12名）、6月7日（8名）、7月5日（11名）、8月9日（8名）10月4日（10名）
11月1日（9名）、12月6日（9名）、1月7日（7名）2月10日（11名）3月6日（10名）

(8) 感染予防委員会

感染予防に向けての全体周知、立案と実施。コロナを含め、感染症を疑うケースでは臨時で開催しました。BCP計画（業務継続計画）の作成を中心的に行いました。

4月2回 5月3回 6月4回 7月2回 8月3回 9月5回 11月1回 12月2回
1月3回 2月2回 3月1回

(9) 安全衛生委員会

職員の労働環境の向上に向けた立案と実施を行いました。外部機関の看護師、産業医と連携し、成人病予防、メンタルヘルスケア、腰痛予防を3本柱として取り組んでおります。

(10) 入退所検討委員会

事前面談情報と入所申込書を基に入所判定会議の実施と受け入れ可否の決定、時期や部屋の選定。保証人やキーパーソンの確認、医療対応、通院、支援の要点について話し合いました。特例入所者の入退所判定。状態変化に応じて居室変更等の検討。入所申し込みの促進に取り組みました。

(11) 研修委員会

研修や勉強会の向上に向けた立案と実施しました。

4月17日(6名)、5月17日(5名)、6月19日(6名) 8月21日(5名) 10月16日(7名)
11月20日(6名) 12月18日(4名) 1月22日(5名) 2月19日(6名) 3月18日(6名)

(12) 排泄・入浴委員会

排泄ケアの統一、紙オムツなどの消耗品の管理、適切な使用枚数と種別の調整、マニュアルの整備。入浴ケアの統一、手順、マニュアルの整備を行いました。

4月18日(7名)、5月16日(9名)、6月20日(10名)、7月18日(8名) 8月22日(7名)
9月19日(7名) 10月17日(7名)、11月21日(6名) 12月19日(6名)、1月16日(6名)
2月20日(7名)

(13) 身体拘束適正化委員会

新人職員への研修を実施。マニュアルの作成。年2回、全職員を対象の研修を実施しました。

1回目：9月1・8・15・22日 (11名)

2回目：3月8・15・22・29日 (18名)

委員会や研修を通じて、身体拘束による身体的、

精神的、社会的弊害と人権を理解し、拘束のない体制作り強化に取り組みました。

4. 各会議

会議は、ユニットメンバー対象のユニット会議から、各部門の役職者、代表者が出席する経営会議を、目的に応じて実施しました。議事録を全職員が共有できるようにしています。また、介護主任・ユニットリーダー会議を月1回開催しています。

経営会議 (法人本部、各部門の役職者、代表者が出席する会議、施設内の最高決定会議)

生活支援部門会議 (生活相談員、介護支援専門員が出席する会議)

看護部門会議 (看護師が出席する会議)

栄養部門会議 (食事委員会内で実施、調理委託業者も出席する会議)

総務部門会議 (事務員が出席する会議)

主任・リーダー会議 (介護主任、ユニットリーダーが出席する会議)

ユニット会議 (ユニット職員が出席する会議)

ショートステイ会議（ショートステイユニット、各職種が出席する会議）

5. 稼働率

令和5年4月～令和6年3月 ベッド稼働率(サービス別)

日付	本入所(36.600床)			ショートステイ(3.660床)	
	延べ人数	稼働率	稼働率 (入院者除く)	延べ人数	稼働率
令和5年4月	2841	94.7%	93.0%	171	57.0%
5月	2921	94.2%	93.6%	188	68.7%
6月	2852	95.0%	93.7%	164	54.6%
7月	2994	96.5%	95.3%	125	40.3%
8月	3040	98.0%	95.9%	204	65.8%
9月	2972	99.0%	96.4%	235	78.3%
10月	3065	98.8%	96.7%	204	65.8%
11月	2937	97.9%	96.1%	181	60.3%
12月	3039	98.0%	96.5%	251	80.9%
令和6年1月	3009	97.5%	94.3%	193	62.2%
2月	2832	97.6%	96.5%	234	80.6%
3月	3068	98.9%	96.6%	272	87.7%
各稼働率	35.570	97.2%	95.4%	2.422	66.9%

令和5年4月～令和6年3月 ベッド稼働率(全体)

日付	全体(40.260床)		
	延べ人数(人)	稼働率	稼働率 (入院者除く)
令和5年4月	3.012	91.2%	89.2%
5月	3.109	91.1%	91.1%
6月	3.016	91.3%	90.1%
7月	3.119	91.4%	90.2%
8月	3.244	95.1%	93.8%
9月	3.207	97.1%	96.7%
10月	3.269	95.8%	94.8%
11月	3.118	94.4%	93.3%
12月	3.290	96.4%	95.7%
令和6年1月	3.202	93.9%	91.8%

2月	3,066	96.1%	95.4%
3月	3,340	97.9%	96.5%
稼働率	37,992	94.3%	93.2%

前年比： 本入所+0.1% ・ショートステイ+6.6% ・全体+1.1%

全体の実質平均稼働率は93.2%。内訳は本入居の稼働率95.4%、ショートステイの稼働率66.9%。本入所の空室率は昨年比0.6%減少しましたが、入院者を除いた実質稼働率は+0.1%にとどまりました。入院者数が毎月平均で37床、旭区特養の課題でもある申込者数、待機者数の減少により空室期間が伸びたことが主な要因です。ショートステイは今年度から入所時間を午後から午前、退所時間を午前から午後に変更し、状況に応じて入退所時間を調整できるように整備しました。その結果、お客様から利用しやすくなったとの声を頂けるようになり、昨年度より利用者数増加の後押しとなりました。また、医療法人誠心会との連携強化により、本入所、ショートステイともに昨年度より利用機会が増えてきております。来年度も再利用や本入所へつなげ稼働の安定を目指していきます。

VI. サービス部門

1. 基本サービス

(1) 介護サービス計画（ケアプラン）

介護支援専門員2名が入居者別の担当を持ち、サービス計画の作成及び更新を行いました。ケアカンファレンスを通じて、入居者本人、家族の要望や各部門の専門性を活かせる内容を計画に取り入れました。コロナの影響でここ数年家族の同席は叶わず、電話や文書のやりとりが中心でしたが、5類後の12月から同席再開となりました。お顔を合わせての定期的な意向確認と情報交換は、とても有意義な時間となっています。今後も家族間と密な連携を図っていきます。

(2) 日常生活支援

① 食事について

栄養ケア計画に基づき、入居者の個々の身体状況に適した食事環境や食事形態及び介助方法にて支援を実施。食事委員会や調理委託業者と連携を図り、食事が入居者にとって楽しみになっていただけるよう、日常献立の種類、行事食、季節の食材等を取り入れました。ご家族様と共同で嗜好品を提供し、お寿司の出前や地方の郷土料理などのイベント食を取入れるなど、生活意欲の源になれるようにつとめています。

② 入浴について

一般浴、リフト浴、寝台浴で入居者の身体状況の変化に合わせた対応を行っています。体調不良等で入浴ができなかった方には、状況に応じて清拭で対応。入浴・排泄委員会と連携をと

り、統一した入浴ケアの向上につとめました。

③排泄について

ユニット会議や委員会を通じて、個人の排泄形態を随時見直し、自立支援と清潔保持につとめています。褥瘡委員会と問題共有し、褥瘡リスクの高い方については、種別の変更や交換回数を見直しを図るなど、予防意識を高めています。

④個別機能訓練について

機能訓練指導員による「個別機能訓練計画」を他職種と連携し立案しています。生活の質と日々の機能維持、向上を図り、計画的に実施しています。

⑤健康管理について

看護職員を中心に入居者の健康管理を行う。病気等の早期治療、回復を図る為、内科の回診を週1回、訪問歯科週1回、精神科月2回、を設け医療面での充実を図っています。家族と回診医師との意見交換の場もご要望に応じて設けています。受診が必要になった場合は、協力病院の他、他の急性期病院へ受診対応を行っています。また、協力医療機関による定期採血や年1回の入居者健康診断を実施し、健康管理の把握につとめています。

(3) 事故防止について

事故の対策は、「事故防止対策委員会」を中心に検討会議を行い、また、再発防止に取り組みました。落葉や誤薬等、職員因子による行政対象の事故に対し、マニュアルの見直しや注意喚起の掲示をする等、危険意識を高め事故の再発及び予防に努めています。また、委員会活動や研修を通じて、事故発生後からの再検証と記録の徹底を図り、対策の妥当性を振り帰る事により、同等事故の再発防止にもつとめています。

(4) 感染予防について

インフルエンザの発症者は5名（職員4名、入居者1名）。新型コロナウイルスは、21名（職員11名、入居者10名（2Fユニット））が発症。昨年発症者数より約5分の1に減少しました。随時、臨時感染予防委員会を開催し早期対応につとめました。協力医療機関や行政との連携・情報共有し、早期治療と蔓延防止にあたりました。内部研修を年に2回行い対策強化の継続を図っています。5類となり、面会外出が徐々に緩和されておりますが、施設内の基本的な感染予防対策は引き続き継続しております。

(5) 褥瘡予防について

「褥瘡予防委員会」を中心にマニュアルに沿った予防の指導を職員に実践しています。褥瘡発生者や高リスク者の評価を毎月行ない、早期の予防に努める様にしています。拘縮が進行することにより褥瘡に繋がるケースも散見されています。良肢位保持の重要性について研修や指導員による助言により、随時より良い姿勢の取り方を学んでいます。また、エアマットや耐圧分散マットレスなどの介護用品も適宜、不備のないように整備しています。

(6) 看取り介護について

R6年1月に「看取り委員会」を立ち上げました。看取りに対する知識を高め、「心に寄り添うケア」を行えるようにマニュアルに基づいた指導、研修を実践し、医療機関と各部門が一丸となって個々の終末期ケアを行うように努めています。看取りを希望され、8割～9割が当苑でご逝去されています。

(7) 年間行事・レクリエーション、イベント、クラブ活動

①行事について

「行事委員会」の企画、運営により、年間の行事活動を実施。

行事活動は年間行事計画に基づき開催する事が出来ましたが、感染症対策を行いながらユニット単位での開催となりました

- 4 月 ・おやつレク、出前レク
- 5 月 ・母の日 ・おやつレク
- 6 月 ・父の日、出前ランチ、ケーキパーティー
- 7 月 ・神輿パレード鑑賞・七夕 ・出前寿司レク
- 8 月 ・夏祭り、出前寿司レク
- 9 月 ・敬老会、出前寿司レク
- 10 月 ・出前レク、ハロウィン
- 11 月 ・出前レク（ファストフード）、おやつレク
- 12 月 ・クリスマス会、忘年会
- 1 月 ・初詣・正月飾り、おやつレク、寿司レク
- 2 月 ・節分豆まき、寿司レク、ドライブ
- 3 月 ・ひな祭り、おやつレク

②レクリエーション、イベント、クラブ活動等

ユニット単位での日々の余暇活動を行っています。誕生日会、調理レク、出前、カラオケ、テーブルゲーム等、入居者同士が交流でき、楽しみの機会を作っています。コロナで近隣保育園の園児との交流やボランティアの受け入れ、夏祭りやクリスマス会等の行事はユニット単位で縮小して実施しましたが、来年度は施設に招き全体行事としての実施を計画していきます。地域交流として、子供会神輿パレードの休憩場所として提供し、神輿を鑑賞することができました

(8) 家族懇談会

コロナの影響もあり開催は行えませんでした。随時、ご面会時の聞き取りやお手紙による発信にて情報交換を行いました。来年度は施設に招き、施設運営の説明や家族との意見交換を行い、相互理解につとめていきます。

(9) 広報活動

「広報委員会」が企画運営を行い、施設での暮らしやトピックスを伝えられるよう広報誌「陽光だより」を毎月発行しています。また、Instagramによる SNS を開始しました。また、来年度にはホームページを刷新し、最新情報の発信を行っていきます。

VII. 各部門業務報告

総 務

職員の退職の際に一時体制が不安定となったが、他部署や本部との協働により滞りなく業務を遂行できた。安全衛生管理については、外部機関を取り入れ、職員の健康管理とともに、職場環境の整備に努めています。また、設備面も補修や交換が必要なところは随時対処し、環境の整備につとめております。来期についても職員の下支えとなり、入居者の安全安心の生活環境と職員の労働環境の整備に努めていきます。

介 護

「一人一人の生活を大切に」ことを目標に、日々の生活状況の把握を行い、現場からの情報をもとに、他職種とカンファレンスを行い、きめ細やかなサービスの提供を実施することもできたが、状態変化のスピードが速く、より良いサービスへと繋げる事が難しかった職員の質の向上のため、オンライン等を活用し、他職種からの助言なども取り入れ、介護士としての自覚、意識と知識の向上に努めました

また、外国人（特定技能実習生）の介護資格の習得を行い、介護技術、知識、日本語の習得に努めました。

介護マニュアルについては、見直し修正をする事が出来ましたが、一部出来ていない所もあり、継続していきます。引き続き、マニュアルの意味、内容を正しく理解しユニットケアに基づいた介護の徹底に努めています

看 護

業務改善を行い看護の機能性、安全性、経済面、効率性の改善を図りました。感染症予防対策の動向や最新情報の把握に努め感染委員会において中心的役割を担い感染予防および拡大防止に努めました。他職種、訪問診療医と連携を図り、ご入所者様やご家族様の意向に寄り添い、地域医療を活用した健康状態の悪化の予防、健康障害の早期発見に繋ぐことができました。看取り期を迎えたご入居者様やご家族様が「陽光苑で良かった」と思える最期を迎えることができるよう、心の通った支援を大切にしています。来年度も専門職として自己研鑽に励み、ご入居様とご家族様中心の温かみのある看護の提供を継続してまいります。

機能訓練

ご入居者様のアセスメントに基づいた機能訓練計画を、他職種と連携し立てることができました。日常生活動作の中で行う機能訓練、ケアの内容は共有できていましたが、職員の知識や技術の習熟度に個人差があり、ケアの均一化に不十分な面がありました。来年度は、研修や現場指導を通じて介助技術の向上を目指します。また、日常生活動作の変化に柔軟に応じた機能訓練計画の作成と実践に努めます。

栄 養

コロナ感染時の栄養補給の確保に適宜対応できました。また、カンファレンスで情報を共有することで個々に適した食事内容の提案を行いましたが、ユニット内で共有ができず、実施にあたり足踏みする場面がありました。来年度は発信方法の工夫と、他職種間の情報共有の方法について部署間で連携を高めていきます。

また、昨年度は委託業者が変更となり、課題点の改善に取り組むことができた一方で、実践の持続性に欠ける部分がありました。食事委員会や厨房との給食会議を定期的に行い、イベント食やリクエスト食等、食の楽しみを継続して提供していきます。

介護支援専門員

定例のカンファレンスや勉強会を通じて、施設サービス計画書の意義や情報の取得から実践、評価につなげる視点の持ち方について共に学び、変化の気づきや早期の対応、自己実現の支援につとめました。令和5年12月1日からは、半年ごとの定例の話し合いをご家族様の参加を再開しました。直接声を挙げていただく事により、より密に意見交換をできるようになりました。それらの定期的な話し合いとともに、重大事故発生時や退院時、日々の状態変化や新たなニーズの発生、看取りの際に臨時で意見交換の機会を設けていますが、支援内容の定着と変更時の切り替えに時間を要す等、情報共有には課題が残りました。状態に応じ早期の話し合いと実践、振り返りを行うとともに、施設内勉強会で計画から実践の展開や個別ケアの意義の発信に努めます。ご入居者様ご家族様のニーズを的確に捉え、支援に繋げていきます。

また、感染症や看取りの対応強化に努めました。入居から最期まで、ご入居者様ご家族様が安心して過ごしていけるよう到来期取り組みます。

生活相談員

コロナ蔓延期を脱し徐々に新規のお問い合わせの件数は増加傾向です。しかし、横浜市全体の入所希望者数の減少と、旭区内の施設割合が最も高い影響もあり、去年度と同様申込み者数は伸び悩んでいます。一方、協力医療機関である、医療法人誠心会（神奈川病院、あさひの丘病院）との連携強化により、家庭や施設入居中の方の申し込みに加えて医療機関からの申込数

は増加しました。ショートステイの利用と連動し、地域の受け皿になれるように努めていきます。

また、ホームページの刷新と SNS の活用により、当苑の情報発信を高めていけるよう準備を進めています。今年度中には軌道に乗せて、生活のイメージを高めて申し込みに繋げていけるよう、継続して取り組みます。また、ご家族様のご理解、ご協力のもと施設は年度末にかけて徐々に面会や外出を緩和しました。来年度は全体行事にご家族様、地域参加の再開を計画しています。日常のサービス向上とともに、余暇活動の充実に取り組み、選ばれる施設を目指していきます。

ショートステイ

広報や空室情報を毎月更新し、施設の取り組みや利用についての情報を発信することができました。来年度はホームページのリニューアルとともに、関係者以外の方にも新鮮な情報を発信していけるよう取り組みます。また、提携医療機関である神奈川病院を主に、退院後の在宅生活の継続に不安がある方の受け皿となれるよう、居宅支援事業者以外にも、医療機関の医師、相談員との連携強化につとめ、ご家庭や施設本入所の利用調整を行いました。また、入所時間を午後から午前へ、退所時間を午前から午後に変更し、利便性の向上に努めました。結果、利用しやすくなったと高評価をいただきました。年間の利用日数は昨年度よりも 229 部屋分 UP しています。来年度も利用しやすい体制づくりを目指していきます。